

⑧ 令和4年度右俣谷第4号砂防堰堤林道付替工事における安全対策について

美笠建設株式会社 令和4年度右俣谷第4号砂防堰堤林道付替工事

工期 自 令和4年4月20日 現場代理人 もりた まさとし 森田 雅俊
至 令和4年12月19日 監理技術者 はやし こうじ ○ 林 孝二



キーワード： 第三者災害の防止

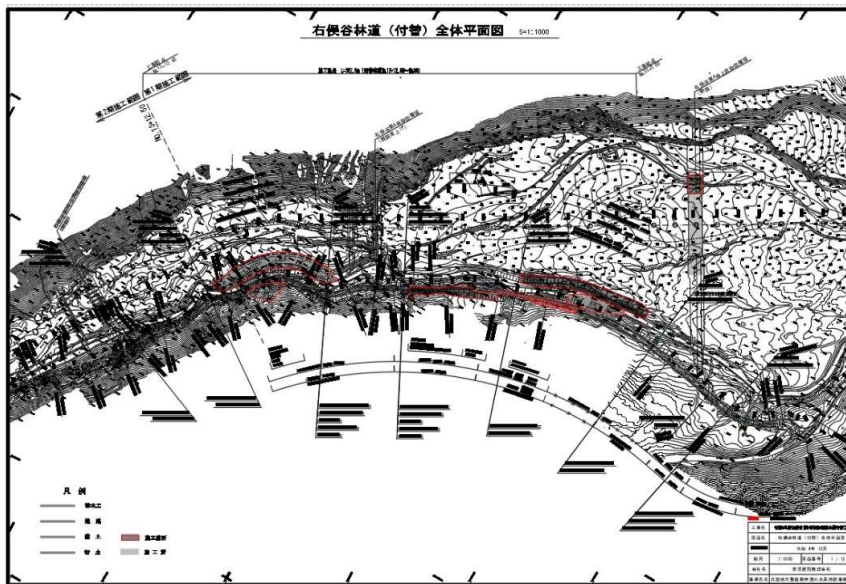
1. はじめに

神通川水系蒲田川支流右俣谷にはいくつもの砂防堰堤があり、下流域で生活する人々を土砂災害から守っています。

本工事は、現在施工中である右俣谷第4号砂防堰堤の嵩上げ及び、右俣谷第4号上流砂防堰堤の新設に伴い既設の右俣林道を付け替える工事であります。

本稿では、施工中に実施した安全対策について報告します。

2. 工事概要



道路土工 一式
法面工 一式
舗装工 一式
擁壁工 一式
排水構造物工 一式

暫定道路工 一式
迂回路工 一式
構造物撤去工 一式
仮設工 一式



上流側(迂回路)



下流側(迂回路)

3. 登山者への配慮

施工箇所である右俣林道は中部山岳国立公園内に位置し、雄大な北アルプスを目指し季節を問わず多くの登山者が訪れます。

そんな登山者が安全に通行出来るよう、幾つかの安全対策を実施しました。

・現場事務所



現場事務所周囲は自然との調和を考慮し間伐材を使用して目隠しました。

また、隣には登山者用の休憩所を設けて疲れを癒せるよう配慮しました。

現場事務所内にはAEDを設置し、登山者等にも利用できるようにしました。

また、掲示板に熱中計も設置し歩行しながらでも確認が出来るようにしました。



・林道の整備及び安全対策

登山道の一部となる林道においても安全対策を実施しました。



梅雨の時期になると道路端には雑草が生い茂り、道幅が狭くなるうえ工事車両とのすれ違いも困難になってきます。

今回工事にて除草作業を行い、安全にすれ違いも出来るようになりました。

また、道路脇に等間隔で警告灯を設置し、夕暮れ時等の道しるべとしました。



右俣林道には小さな沢がたくさん点在します。豪雨があると、毎年至る所で倒木や土砂崩れが起こる危険な道でもあります。



今年度も、9月9日の降雨により林道沿いで土砂崩れが発生しました。

おそらくは夜から朝方にかけて発生したと思われるため、被災者等はいませんでした。登山者や牧場関係者が立ち往生する事態となりました。

雨量が中止基準を上回っていたため現場作業は中止としましたが、復旧作業は速やかに行い安全に通行出来るようにしました。



・作業時の安全対策

今回の工事は主に林道の切土掘削及び盛土になります。また、既設林道より上部での作業となるため落石等の危険がありました。

落石事故を防止するため、当工事では路側帯に素掘りにてポケットを設けました。

また、跳ね石に対しても足場板を利用して防護壁としました。



写真にはありませんが、掘削時に発生した巨石を利用して落石防護としました。

また、立木のある場所においては、幹にネットを張った防護柵でも対処しました。

支障木の伐採時においても危険が予想されます。

登山者や車両が現場を通行する際は作業を一時中断するように徹底しました。

伐採作業時は、交通誘導員を配置しました。

登山者や車両が作業箇所を通過する際は警笛等にて作業員に一時中断の合図を送りました。

また、登山者や車両が安全に通過できるように誘導を行いました。



4. おわりに

本工事では第三者災害、特に登山者及び通行車両に対しての安全確保に重点を置いて作業を行いました。

シーズンになると1日に100人を超える登山者が訪れます。今回の対策では登山者が安全に通過するまで作業を一時中断することが多かったため、今後はいかに時間的ロスを無くした安全対策が出来るかを考察していきたいと考えます。

最後になりますが、監督職員の皆様と工事関係者の皆様には数多くのご意見・ご指導を頂き厚く感謝を申し上げます。